

2019
11/29 FRI
19:00~21:00 (18:30開場)

会場:TOKYO FM HALL

2019年度

国際交流基金賞

受賞記念イベント

Commemorative Event of
the Japan Foundation Awards 2019

詩人・谷川俊太郎氏の作品は
20数ヶ国語に翻訳され、
日本国内にとどまらず
世界中で愛され続けています。
本イベントでは、2019年度
国際交流基金賞受賞を記念し、
谷川俊太郎氏と海外とのつながり、
経験についてご自身から
語ってもらうとともに、
谷川賢作氏によるオリジナル楽曲の
コンサートを行います。

対談と詩と音楽の夕べ

谷川俊太郎
谷川賢作

「みみみをすすま

す」

第一部

受賞記念対談

谷川俊太郎

尾崎真理子

『詩人なんて呼ばれて』の共
著者である尾崎真理子氏
を聞き手としてお招きし、
谷川俊太郎氏と海外との
交流、経験についてお話し
します。

第二部

受賞記念
コンサート

谷川賢作

ピアニスト・谷川賢作氏によ
るオリジナル楽曲のコンサ
ートを行います。

主催 国際交流基金

協力 エフエム東京

© 深堀瑞穂



第一部

谷川 俊太郎



©深堀瑞穂

1931年東京生まれ。詩人。1952年に第一詩集『二十億光年の孤独』を刊行して以来、70年近く詩作を続け、人間の根源的なこと、深い喜びや悲しみを伝える詩から、『わらべうた』まで幅広い作風を特徴とする。その活動は、詩作、作詞、脚本、絵本、童話、エッセイ等多岐にわたる。平易なことを用いた詩は、日本語のリズムの特殊性、ことばの持つ響きを学ぶことができる『ことばあそびうた』、分かりやすいことばで普遍的なものに向き合う詩「生きる」など数々の作品が日本語学習の教材にも取り上げられてきた。また、英語、中国語をはじめ20数か国語に翻訳され、世界中の人々が日本との距離を縮めるきっかけとなり、大きな影響を与えている。

第二部

谷川 賢作

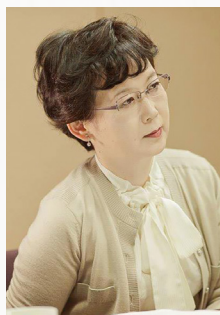
(作／編曲家、ピアニスト)



©深堀瑞穂

ジャズピアノを佐藤允彦に師事。演奏家として、現代詩をうたうバンド「Div a」、ハーモニカ奏者続木力とのユニット「パリアーソ」、また父である詩人の谷川俊太郎と朗読と音楽のコンサートを全国各地で開催している。

尾崎 真理子



青山学院大学文学部卒業後、読売新聞社に入社。1992年から文化部記者として文芸を担当する。東京本社文化部長を経て編集委員。著書に『現代日本の小説』『ひみつの王国 評伝 石井桃子』、『詩人なんて呼ばれて』(谷川俊太郎氏と共著)など。

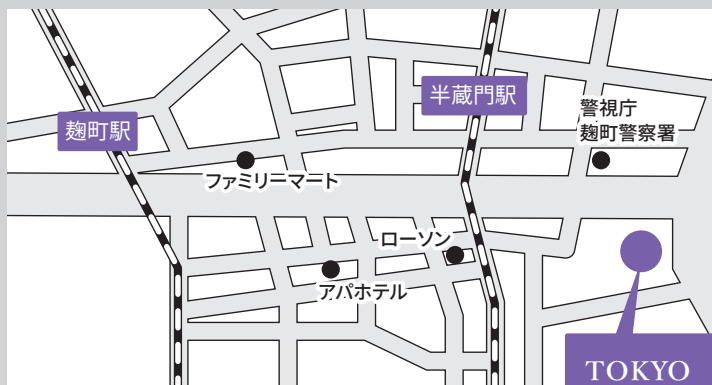
国際交流基金賞とは

国際交流基金賞は国際交流基金設立の翌年である1973(昭和48)年に始まり、2019年度で47回目を迎えます。本賞では、学術、芸術その他の文化活動を通じて、国際相互理解の増進や国際友好親善の促進に特に顕著な貢献があり、引き続き活動が期待される個人又は団体を顕彰しています。



会場MAP

〒102-0080 東京都千代田区麹町1-7FMセンター2F



- 半蔵門線「半蔵門駅」下車 (1)(2)番出口より徒歩約3分
 - 有楽町線「麹町駅」下車 (1)(2)番出口より徒歩約6分
- ※一般駐車場はございません。

TOKYO
FM HALL

お問い合わせ先

国際交流基金賞事務局(株式会社ステージ内)
TEL : 03-5966-5779(土日祝を除く10:00-18:00)
E-Mail : jf-award2019@stage.ac

参加
お申込
方法

ウェブサイトよりお申し込みください。
<https://www.jpff.go.jp/j/about/award/>
※内容については変更の可能性がございます。

詳しくはこちら

